

2009 年 5 月 20 日 (水)

広島国際大学 公開講座 住環境デザインセミナー
「シックハウスと住環境」の開催について

建材や建材関連品に使われる化学物質による室内空気汚染やダニ・カビなどの生物汚染が原因で発症する病気、シックハウス。発症しなくとも、新築の家に入った時、建材品による嫌な臭いが気になった方も多いと思います。

2003 年 7 月の改正建築基準法の施行により、シックハウス状況は改善されつつありますが、私たちの生活と深く関わりがあることは変わりません。

この講座を通じて改めてシックハウスと住環境との関係を考えてみませんか。

なお、開催日程は以下のようになっております。詳細につきましては別紙資料をご参照ください。皆様の参加をこころよりお待ちしております。

- ◎日 時： 2009 年 6 月 4 日 (土) 18:00～20:00
- ◎場 所： 広島国際大学 呉キャンパス (呉市広古新開 5-1-1)
- ◎講演者： 石津 嘉昭 氏 (本学 住環境デザイン学科 教授)
- ◎対象者： 一般、学生
- ◎定 員： 50 名程度
- ◎費用： 無料 事前申し込み不要 学内駐車場有

(別紙資料) 広島国際大学公開講座「咲楽塾」講演会のご案内

以上

この件に関するお問い合わせ先

広島国際大学 工学部事務室 までお願いいたします。TEL: 0823-73-8830

上記リリースに関する資料は <http://www.hirokoku-u.ac.jp/> に UP されております。

発信枚数：本書含め 2 枚

広島国際大学公開講座「咲楽塾」講演会のご案内

日 時：2009 年 6 月 4 日（木）18 時～20 時

場 所：広島国際大学 呉キャンパス 2101 教室（2 号館 1 階）

呉市広古新開 5－1－1 （JR 呉線新広駅下車北へ徒歩約 8 分）

講 師：石津 嘉昭（広島国際大学工学部住環境デザイン学科教授）

演 題：シックハウスと住環境

概 要：環境問題は、個体間での差が大きいことや、複合汚染であることが多く因果関係がはっきりしないことなどの様々な困難があり、対策が遅れがちとなる。シックハウス問題に関してはこれまでと違い迅速な行政の対応がなされ 2002 年 7 月の建築基準法の改正に至っている。この改正により建築物からのホルムアルデヒド対策は大きな進展がみられたが、家具や日用品などからのホルムアルデヒド対策は残されている。また、シックハウス症候群の原因物質はホルムアルデヒドだけではなく、トルエン、キシレンなど多数あるが、これらの対策も今後の課題である。さらに、化学物質のみでなく、ダニやカビなどに起因する生物汚染の対策も大きな課題である。

本講演ではシックハウスと住環境について改めて皆様と一緒に考えてみたいと思います。また、化学物質や微生物の測定法などについても紹介いたします。

参加費：無料

定 員：50 名（当日受付可能）

主 催：広島県建築士会呉地区支部 （継続能力開発制度プログラム認定 講座）

共 催：広島国際大学 工学部 住環境デザイン学科（広島国際大学公開講座咲楽塾）

その他：来場の際には学内の駐車場が利用できます。